

私は函館市で生まれ育ち、大学・大学院は室蘭市で過ごした後、2004年(平成16年)に株式会社日水コン(下水道部)に入社しました。下水道部では主に計画関連の業務に携わってまいりました。技術士を取得したのは2011年(平成23年)です。合格発表に喜んだのもつかの間、当時は東北支所(仙台市)に勤務していたことから、東日本大震災を目の当たりにし、大変な思いをしました。

下水道施設の復旧支援業務に携わり、大きな緊張感と強い責任感を持ちながら作業をしたことを今でも鮮明に覚えています。その後、本社(東京)の勤務地を経て、2019年(令和元年)に北海道勤務となり15年ぶりの北海道生活がスタートしました。北海道満喫かと思いきやコロナ禍の影響により缶詰生活に突入し、なかなか満喫には至りません。そんなコロナ禍で発達したツールとしてzoomの利用が盛んになってきました。仕事では会議などにも活用され、使わない日は無いくらいです。プライベートにおいても、はじめは違和感があったものの、オンライン飲み会で利用して、うっかり飲みすぎる場面もちらほらあるくらい充実しております。趣味は麻雀(弱い)ですが、対面で行うことは自重しておりました。しかしながら、ここでもzoomの登場です。ゲームとzoomを駆使して行うオンライン麻雀も思いの外臨場感があり、かつ普段は対局の叶わない遠方の仲間も参戦可能となり、北海道、東北、大阪、名古屋(新幹線移動中)の配置で対局したこともあります。配牌も点数計算もゲームならではの……。もっと仕事でもzoomを活用しろ！と言われそうなのでこの位にしまして、コロナウイルスの収束を祈りながら道内を自由に活動できる日を待ち望んでおります。

## 佐野 貴行(さの たかゆき)

●上下水道部門

勤務先

株式会社 日水コン



→次号は、菊地健元さん(上下水道部門)

この夏、20年間勤務した会社を退職し、一人で仕事をする道を選びましたので、今回は前職でのお話为中心となります。土建屋の家に生まれ、工業高校・工業大学と卒業後は迷うことなく土木の道へと進むべく、地元留萌の道路調査設計のコンサルタント業に就きました。入社後は、測量調査での現場作業から始まり、調査・設計へと転換し、会社で行っている業務のほぼすべてに関与して来られました。地域のコンサルタントですから、専門は??と言われるとモジモジしてしまいますが、道路設計や交通量調査を主戦としながらも、求められる事は何でも応えようと、様々な課題に対し社内外からなりふり構わず情報を得て、業務を遂行してきました。そんな中、“技術士”の存在すら知らずに進んだ世界で、技術士の重要性に気づき、先輩技術士や大学同期など周りの人から情報を得てどうにか“技術士”を名乗ることに成功しました。

最近では3DCADを用いた設計(一応CIMだと思っております)や、道内(国内)三例目となる断熱材を用いたコンクリート舗装設計など、一応最先端といわれる設計にも携わることが出来たことに自己満足しております。これからは初心に帰り、自分のできることは何でもやっていこうと考えております。

また、幼少期より続けている書道について少し……。学生時代は部活や社会勉強という名の遊びと並行し、大学時代に本格的に書道展へ出品するようなことになりました。2年前には深川留萌自動車道の開通に合わせた横断幕を揮毫させていただきました。技術士と書家という異例の二刀流ですが、バランス感覚よく、両立していけたらと考えております。

また、幼少期より続けている書道について少し……。学生時代は部活や社会勉強という名の遊びと並行し、大学時代に本格的に書道展へ出品するようなことになりました。2年前には深川留萌自動車道の開通に合わせた横断幕を揮毫させていただきました。技術士と書家という異例の二刀流ですが、バランス感覚よく、両立していけたらと考えております。

## 伊藤 直也(いとう なおや)

●建設部門(道路)

勤務先

ITO 技術士事務所  
書家 伊藤 寒岳



→次号は、河村容輔さん(建設部門)